

LIXIL

〔 LIXIL 断熱リノベ
実例集 Vol.1 〕

断熱リノベの匠

築
50
年
の
再
生



築50年に新たな命を吹き込む 断熱リノベによる体感ハウスの提案。



断熱リノベによる既存住宅の高性能化によって、外の温度の影響を受けにくく、家の中の快適な温度を逃しにくくなるため、冬は暖かく夏は涼しく過ごせるように。このような開放的な空間デザインでも心地よくストレスフリーな家を実現できる。



株式会社大黒屋 木づつみ
代表取締役 袖野 伸宏 氏



20歳から大工として腕を磨き、その後監督という立場で現場に携わりながら、現場管理や一期一会の大切さを学ぶ。34歳で社長に就任。家づくりで大切にしていることは「暮らす人・家族にとって『本当に良い家』を追求すること。



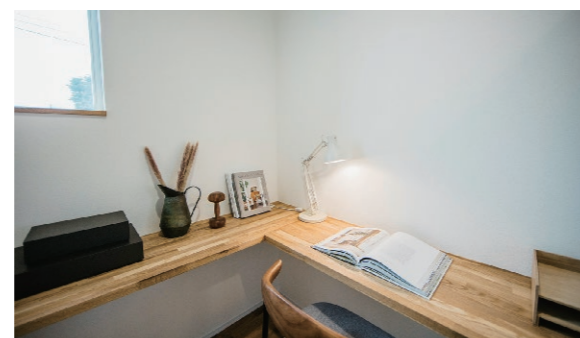
リノベ前：2棟並ぶ築50年の老朽化した家屋

リノベ後：2棟を1棟の住宅にフルリノベーション

袖 野氏率いる「大黒屋 木づつみ」は、これまでも新築の高性能住宅を手がけているが、新しく生まれ変わった住まいをもっと好きになるリノベーション（R.e.暮らし）にも力を入れている。今回紹介するのは、築50年・2棟並ぶ空き家の再生。25年もの長いあいだ放置されていたこの住宅は、老朽化により街並みを崩す要因となっていた。そこで袖野氏はこの物件を買い取り、リノベでも心地よく暮らすことができるよう、断熱や気密、耐震にすぐれた高性能化とともに、自然エネルギーを利用して快適な住環境を整えるパッシブデザインを取り入れて設計。お客様に暮らし心地を体感していただくモデルハウスとしてフルリノベーションを行った。



洗面室にもゆとりを持たせ、朝の身支度もゆったりストレスフリーに。オリジナルの造作家具で洗濯機をカバーし、統一感のあるスッキリしたデザインで心地よく。



2階に配置したL字型のワークスペースは、仕事に・勉強に・趣味に自由に使える空間。小さいながらも個室のため、一人で集中したい時やテレワークにも最適。

武 蔵野の面影を残す、東京・東村山で、創業36年となる地域から愛される工務店「大黒屋 木づつみ」。『地域の家づくりは地域の工務店がつくる』をモットーに、東村山の暮らしを豊かにすることに情熱を注ぐ匠（たくみ）・代表取締役 袖野 伸宏氏が着目したのが「空き家」だ。なぜなら時が止まったままの空き家は、老朽化し、雑草が高く伸び、窓ガラスが割れているなど、景観の悪化につながる。そこで、袖野氏は空き家をリノベーションして新たな命を吹き込み、再び人が集う場をつくり、地域活性化に力を注ぐ。文化複合スペース「縁ひらく庭 百才（ももとせ）」は、もともと空き家となっていた古民家を何とか残して活かしたいという想いが、人の輪を広げ、地域を巻き込んだプロジェクトにより誕生。その中心人物のひとりとなった袖野氏はリノベーションなどを担当。クラウドファンディングにも挑戦し、多くの地元住民の支援によって、たくさんの笑顔が生まれる場として蘇った。

空き家を活用して、東村山の暮らしを豊かにしたい。

空き家問題をリノベーションで解決すべく地域の活性化に挑戦。築50年の家を高性能化したリノベ体感ハウスを新たに提案。

木づつみ 株式会社大黒屋 <https://daikokuya-home.com>
百才[ももとせ] <https://www.facebook.com/momotose.100>

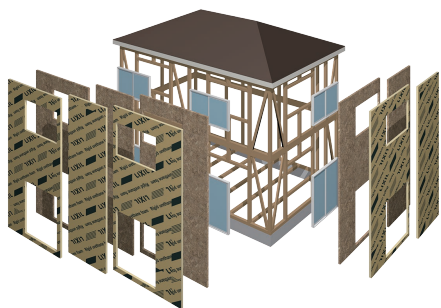
築50年の家を「まるごと断熱リフォーム」で高性能化 (SW工法リフォーム)

今

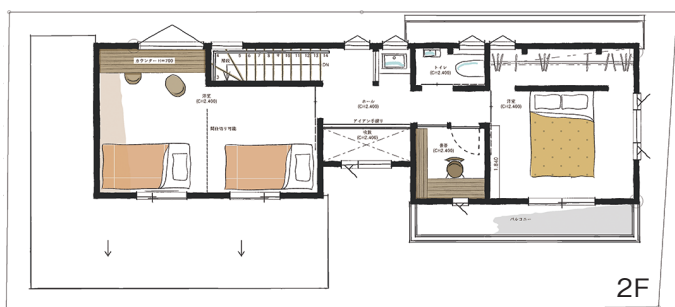
回のリノベーションにおける、こだわりポイントは3つと袖野氏は語る。「心地よく、ストレスフリーな家」「もしもに備えた安心して住める家」「唯一無二のお気に入りがある家」であること。

特に年間を通して快適で安心して暮らせる家にするために、築50年の構造体を大工が手作業でひとつひとつ新しいものと交換・補強。壁材には「スーパーウォールパネル」を入れ、サッシは樹脂とアルミのハイブリッド窓「TW」を採用するなど、LIXILの「まるごと断熱リフォーム」により高性能化を実現。さらに、空間デザインや動線のひと工夫で暮らし心地をワンランクアップするなど、これまでのリノベの想像を超える快適・健康・省エネ・安心のすべてを叶える暮らしを可能にした。

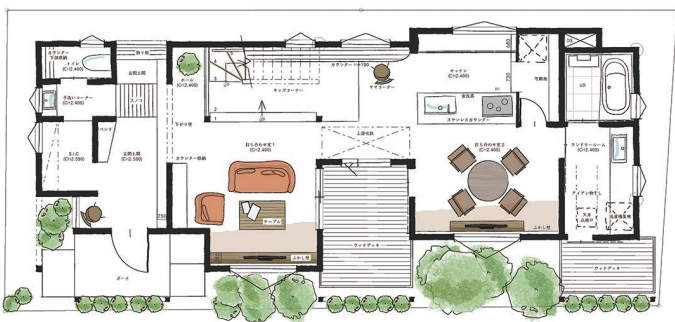
こうした断熱リノベの進化は、空き家問題の解決策としてはもちろん、住まいづくりの新しい選択肢になるのではないだろうか。



今回はスケルトンリフォームだが、物件によっては既存住宅の外壁の上から断熱パネルを張るケースも。



2F



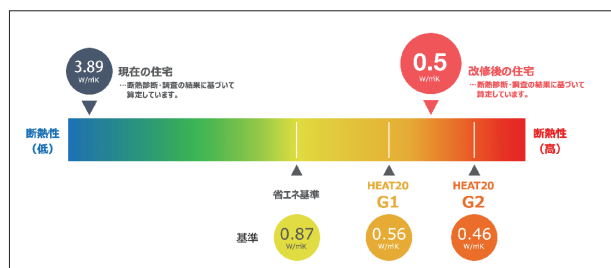
1F

Reform Data

床面積:延床 109.63㎡ 1階 65.73㎡ 2階 43.90㎡ / 木造2階建 / 築年数:1971年
着工・築50年 / エリア:東京都 / 断熱リフォームによる性能改善:省エネ区分 6地域
改修前 3.89W/㎡K → 改修後 0.5W/㎡K



築50年(1971年着工)の2軒を1軒の住宅に再構築し、新築同然のモダンな住宅に。工期はおおよそ5ヶ月。



LIXILまるごと断熱リフォームによって、断熱性能はHEAT20 G1グレードを超えるUA値 3.89W/㎡Kから0.5W/㎡Kへ大幅に改善。



LIXILの「まるごと断熱リフォーム」とは
(SW工法リフォーム)

リフォームで高性能住宅の暮らしを実現

まるごと断熱リフォームは、今ある住まいを、一棟まるごと断熱改修することで高性能住宅化できる先進の工法。すぐれた性能の断熱材により、壁・天井・床をしっかりと覆い、高断熱の窓や玄関ドアに交換。外気温の影響が少なく、快適・健康・省エネを実感できる暮らしを実現する。

詳しくは
こちらから

